

# 城山町考楽会

○本会は、平成17(2005)年に城山町を中心とした歴史愛好家によって設立されました。

○本会の目的は、地域の研究を通して地域の活性化と会員相互の親睦を図ることです。

○本会は目的達成のため、次の活動を行っています。

- (1)地域の歴史を通して地域の民族、文化を学習する。 ・市内外の史跡巡り
- (2)茶臼山城跡の保存と環境整備を行う。 ・案内版等の設置 ・年数回の草刈り
- (3)茶臼山城跡の史跡案内、地域との交流を積極的に行う。 ・城山小学校との交流(茶臼山城跡や金井沢碑の案内) ・講演会や歴史探訪の企画・実施
- (4)本会は定例会議、役員会議(月1回)を開催。現在会員数は10名です。

現会長 横倉興一

## ※城山小学校との交流の様子

### 茶臼山城跡の案内



### 金井沢碑の案内



## 茶臼山城とは

### ◎城山団地と「茶臼山城」

団地の北方にあるアスレチック公園東側には平地を一望できる山があり、昔ここに山城があり茶臼山城と言われ、地元ではこの付近一帯を「城山 じょうやま」と呼び親しんでいた。造成された団地名を地元区長、区画担当者等が協議して地元の要望も入れて「城山」と名付けられました。

### ◎鎌倉時代 新田義重の居城(伝)

新田勤王史によると「義重公様御在城は南上州寺尾村茶臼山の城」とあります。新田義重は八幡太郎義家の孫で里見・山名・新田・世良田(徳川)各氏の祖であり墓碑は寺尾町永福寺にあります。鎌倉時代から戦国時代まで400年の城郭と考えられます。

### ◎茶臼山城の形状

本郭 本郭は南北50m・東西35m、北は永福庵跡地背後の大きな崖を利用している。本郭を守る堀は、南の大堀切、南堀、北堀と3本ある。南堀の土橋から、7~8mだんだん下げていく方法で北東隅が一番低く「井戸跡」らしい。

二の郭 二の郭は本郭への土橋が通じている。ここは守備兵が常駐する場所であろう。

土塁と矢倉台 土塁は二の郭から逆L字状の本郭を取り巻く。高さは2mほど。矢倉台は敵の動向を見張る施設の矢倉を建てたところ。

追手口 追手口は城郭の主要な入口を呼ぶ。堅固な門や柵で敵の侵入を防げとともに、城を飾る。南郭と大堀切 ほぼ南北の尾根を掘り下げて大きい堀を造っている。深さは本郭の土塁から10m程。南郭は尾根を削り平らにしている。

- ※ 領主(城主)や侍たちの日常の生活は山の下にあり、中・小規模な街は「根小屋」と呼ばれる。茶臼山城は、山の下に堀と土塁を付けた館跡があり、城主館かもしれない。
- ※ 茶臼山城は、山腹が階段状になっている。ここに、新田義重墓があったと岩崎弥右衛門の言い伝えにあるので、堀や住居、寺跡があるかもしれない。
- ※ この城の出発は、岩崎家の伝承のように治承4年の源平合戦時に、義重によって構築された可能性はある。

※ 案内板の設置



永福寺側登り口



本郭戸口



城山団地側登り口

茶臼山城跡の環境整備 除草作業の様子



寺尾町3丁目町内会と合同で除草作業



茶臼山城二の郭のフジバカマにアサギマダラが飛んできました



## 歴史探訪・史跡巡り(年3～4回)の様子

◎ 2021年4月 「新・すばらしき群馬の埴輪展」 見学



◎ 2021年6月 大類歴史巡り

進雄神社～高井喜三郎墓～蟹沢古墳跡～浅間山古墳～歴史民俗資料館～元島名将軍塚古墳

◎ 2021年10月 「島村と渋沢栄一翁」 巡り

田島弥平旧宅(島村散策)～旧渋沢邸(中の家)～渋沢栄一記念館～尾高惇忠生家～誠之堂・清風亭  
～旧本庄商業銀行煉瓦倉庫～田村本陣門～金鑽神社

◎ 2022年5月 「鎌倉街道 児玉宿～畠山重忠」

雉岡城跡～塙保己一記念館～競進社模範蚕室～八幡神社～鎌倉街道踏切～川本出土文化財センター(武蔵武士の鏡 畠山重忠展)～満福寺・井椋神社～畠山重忠史跡公園



◎ 2022年10月 「総社～吉岡古墳」 巡り

上野国分寺跡～総社古墳群(宝塔山・蛇穴山古墳)～総社歴史資料館～吉岡南下古墳群・資料館



## ◎2022年7月 「太田・新田の里」 巡り

金山城跡ガイドンス～曹源寺さざえ堂～高山彦九郎記念館～中島知久平旧宅～総持寺



史跡巡りの時のお昼も楽しみの一つです！

竹の道



※ 本郭あずま屋に設置したボックス

中に「城山団地・寺尾町・根小屋町史跡案内図」「高崎自然歩道ガイドブック」「感想自由ノート」が入っています。

「城山団地・寺尾町・根小屋町史跡案内図」は城山公民館と根小屋駅にも置いてあります。



本郭から筑波山が

※会員募集中です。

連絡先： 横倉 興一（347-5267）

黒沢 陽美（322-6108）